ウォールゼット ノエル2 取扱説明書

wallzet NOEL2
SYSTEM CLOSET PARTS

必ずお読みください

南海プライウッド株式会社
本社　〒760-0067　香川県高松市松福町1-15-10

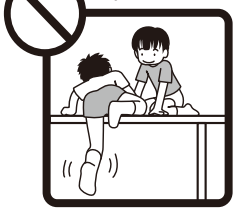
北海道・東北営業グループ	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
中部営業グループ	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
近畿営業グループ	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
中四国営業グループ	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
九州営業グループ	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
新規需要開拓グループ	TEL(087)825-3631	FAX(087)825-3659
営業開発グループ		
├特需営業チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
└技術営業チーム	TEL(087)825-3651	FAX(087)806-3640

お施主さまへ

⚠ご 注 意　ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った取り扱いを行いますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず取り扱いを行った場合については、当社での保証は致しかねますのでご注意ください。

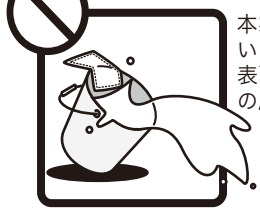
製品のお取り扱いについて

乗らないでください。



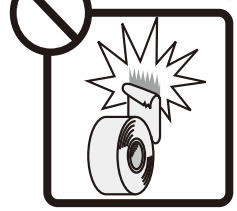
安全のため製品には乗らないでください。ケガ・死亡につながる事故のおそれがあります。

水に注意してください。



本製品に直接水をかけないようにしてください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。

テープ等は使用しないでください。



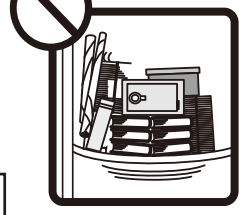
粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等）は貼らないようにしてください。表面化粧がはがれるおそれがあります。

重量物を吊さないでください。

パイプを取り付け重量物を吊す場合はしっかりと固定されているかどうか確認してから吊してください。ケガのおそれがあります。

詳しくは「荷重の目安」をご覧ください。▼

重量物を置かないでください。



棚板に過度の重量物を置くと、たわみ、変形が起こり、場合によってはケガのおそれがあります。

詳しくは「荷重の目安」をご覧ください。▼

製品のお手入れについて

日常のお手入れについて。

日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた物を布にしみ込ませ、堅く絞って拭き取り、良く乾燥させてください。

換気をしてください。

収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、充分な換気を行なってください。

油やインクに注意してください。

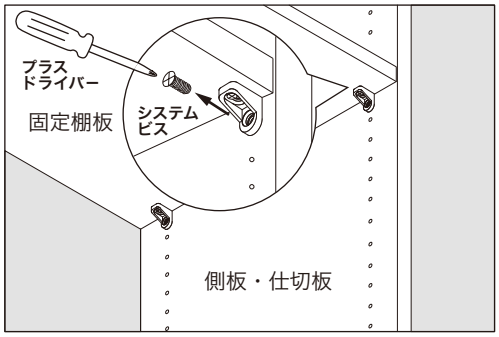
水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

荷重の目安

※下記は耐荷重の目安値であり、品質保証値ではありません。(社内データ)

部材名	間口	荷重範囲
固定棚板・可動棚板	780mm以内	**30kg以内**
フリーカット棚板	最大1100mm	**30kg以内**（補強材を必ず取り付けてください）
天板	1300mm以内	**30kg以内**（間口1300mm以上の場合、仕切板またはショート側板をご使用ください）
ハンガーパイプ	1000mm以内	**50kg以内**（間口1000mm以上の場合、中吊金具または仕切板をご使用ください）
スライドハンガー	—	**5kg以内**
フレーム引出し・ボックス引出し	420・600・780mm	**10kg以内**（引出し1段あたり）
スラックスハンガー・シャツトレイ・ギャラリーケース	600・780mm	**5kg以内**（1段あたり）
和盆	1050mm	**5kg以内**（引出し1段あたり）
バスケット	420mm	**5kg以内**（バスケット1段あたり）

固定棚板の移動・取り付けについて



①現在取り付けている棚板の下部のシステムビスをプラスドライバーで左に回し、棚板を取りはずします。

⚠ 注意　棚板の落下にご注意ください。

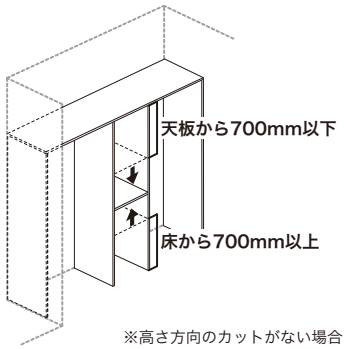
②取り付けようとしている位置のダボ穴にシステムビスで棚板を取り付けます。

⚠ 注意　取り付けるダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

D300／D445‥‥前後2箇所× 左右
D595‥‥前後中央3箇所× 左右

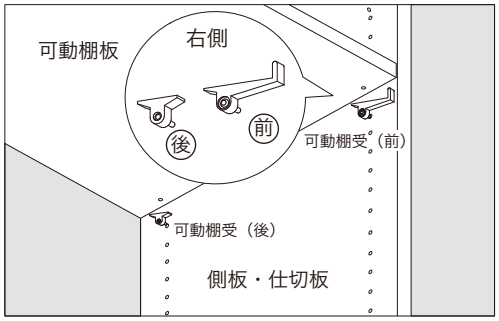
固定棚板は必ず中央部（以下の指定位置以内）に取り付けてください。

お守りいただけない場合、収納全体の寸法精度及び強度が保てない可能性があります。



※高さ方向のカットがない場合

可動棚板の移動・取り付けについて



※可動棚受（前）は形状が左右異なりますのでご注意ください。

①棚板をはずします。

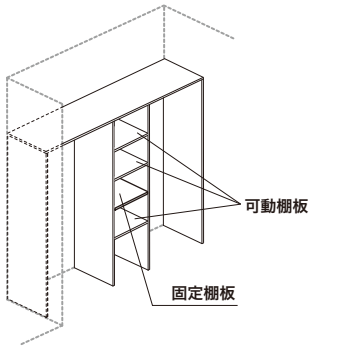
②棚板を取り付けたい位置に可動棚受のピンをダボ穴に差し込み、棚板を乗せます。

⚠ 注意　取り付けるダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

D300／D445‥‥前後2箇所× 左右
D595‥‥前後中央3箇所× 左右

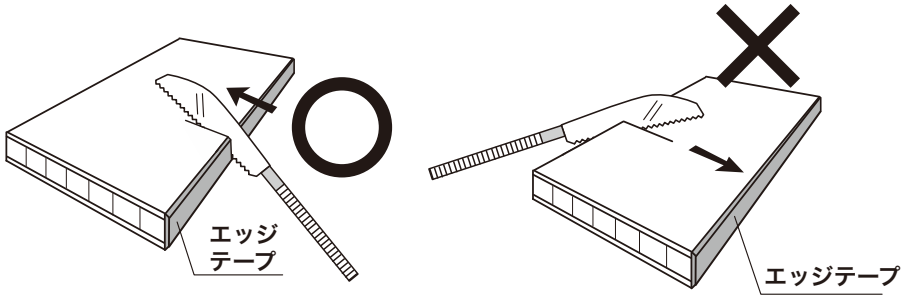
可動棚板のみの施工は、お避けください。（中央部の一枚は必ず固定棚板をご使用ください。）

お守りいただけない場合、収納全体の寸法精度及び強度が保てない可能性があります。



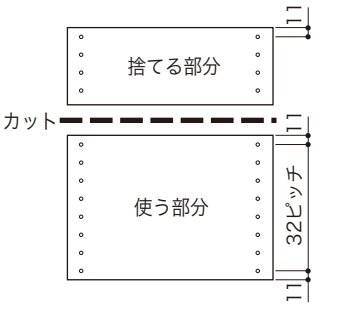
棚板・天板・側板・仕切板のカットを行う場合

重要　必ずエッジテープ側からカットしてください。



各部材はカットが可能となっております。
カットする場合、必ずエッジテープのある側からカットを始めてください。反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。側板・仕切板の場合は、カット位置にもご注意ください。

側板・仕切板の高さカット位置



側板・仕切板をカットする場合端穴の中心から11mmの位置でカットするとダボ穴をそのままご使用いただけます。